

だれでも BCCKS でつくった電子書籍を 販売できる機能を公開！

定価の70%を著者の印税として還元、印税シェア機能も。
BCCKS 初の有料版 10 冊を配信開始。

<http://bccks.jp/>

株式会社 BCCKS（ブックス）[本社：東京都品川区
代表取締役 山本祐子 / 竹中直純] は、BCCKS でつく
った電子書籍を販売することができる機能を公開したこ
をお知らせします。

BCCKS は、ウェブ上の本を、ウェブ、iPhone、iPad、
Android など全てのデバイスで美しく読める形で瞬時に
発行することができる「だれでも無料で出版できるサー
ビス」を行っています。この度、これまでの「読む」「作る」
機能に加え、「本を販売する」機能を公開。本が売れた場合、
定価の70%を著者の印税として還元し、複数的人数で
本を作った場合には印税をシェアすることもできます。

今回の「本を販売する」機能の公開に合わせて、BCCKS
からは、ジャーナリストかつメディア・アクティビスト
で数多くの読者を持つ津田大介氏のメールマガジン『メ
ディアの現場』を月刊で、都築響一編集の『妄想芸術劇場』
第一弾、天然文庫から8冊を有料出版いたします。また、
メディアクリエイター平野友康氏とは「書籍を購入する
と電子書籍のライセンスが得られる」というあたらしい
試みなども行っています。

BCCKS では、美しい縦書き組版を表示する独自の組版
エンジンを搭載した電子書籍リーダーアプリ「bccks
reader」を配信中です。次回アップデート版からは『津
田大介のメディアの現場0号』がプリインストールされ
ます。随時、リーダーやエディタにも新機能を加えながら、
来年1月にはBCCKSでつくった電子書籍を紙の本に
印刷するサービスの開始を予定しているなど、誰でも使
いやすく開かれた新しい形の出版サービスを目指してい
ます。



※本資料内で使用している素材をご用意しています。
必要な場合は、下記よりお問い合わせください。
<http://alpha.bccks.jp/contact/>

発行設定	キャンセル	確認
タイトル・公開 販売スクリーン本 奥付		
販売設定 スクリーン本 いつでも変更できます		
販売形態	<input type="radio"/> 無料 <input checked="" type="radio"/> 有料販売 1,155円 一冊あたりの印税額：808円 ※販売価格は税込みです。 ※印税率はBCCKSに入る売上げの70%となります。 詳しくは 会員規約 をお読みください	
印税詳細設定		
※こちらからBCCKSの会員に印税をシェアすることができます。 共同編集者に印税を分配したい場合は、ここから行ってください		
立読み本ページ数	<input type="text" value="10"/> 見開き ※7見開き（14ページ）以下にはできません	

有料／無料、値段、タチヨミページ数などを設定できます。
 値段を決めて発行ボタンを押すだけで、アッという間に有料の本が出版されます！

キャンセル	決定
印税の設定	
本の価格：1155円（税抜）	
印税対象額：808.5円	
分配設定：	
<input type="text" value="100"/> % ※月末24時時点の印税設定が、その月の売上げの印税分配に適用されます。	
ユーザID / ユーザ名	
<input type="text"/>	
<input type="button" value="ユーザを追加"/>	

複数人で本をつくった場合、その本の印税をシェアすることができます。
 ※印税シェアはBCCKS会員間でのみご利用いただけます。

■ BCCKS 推奨環境

● 閲覧：

- ※ Safari、Google Chrome、firefox の最新版に対応。
- ※ InternetExploere でご覧いただくには、「Google Chrome Frame」のインストールが必要となります。

● 本の作成：

- ※ Safari、Google Chrome の最新版に対応。

□ BCCKS

■ サイト：<http://bccks.jp>

■ facebook ページ：<http://www.facebook.com/BCCKS>

■ Twitter アカウント：BCCKS

□ BCCKS リーダーアプリ（無料）のご案内

■ iPhone,iPad 対応のユニバーサルアプリ「bccks reader for iOS」：<http://bit.ly/roSsFi>

■ Android 対応アプリ「bccks reader for Android」：<http://bit.ly/nZJmXD>

■BCCKS初の有料版10冊の紹介

※各著者のプロフィールは別紙参照

●津田大介氏のメルマガ『メディアの現場』月刊で登場！

『メディアの現場 0号』 津田大介著 BccksPublish 無料！（創刊準備0号のみ）

<http://bccks.jp/bcck/100537/info>

『メディアの現場 September issue』 津田大介著 BccksPublish 630円

<http://bccks.jp/bcck/100546/info>

『メディアの現場 October issue』 津田大介著 BccksPublish 630円

<http://bccks.jp/bcck/100550/info>

『メディアの現場 November issue』 津田大介著 BccksPublish 630円

<http://bccks.jp/bcck/101627/info>

▼作品解説

津田氏のメールマガジンのアーカイブスを月刊にまとめて販売します。津田氏が日々の取材活動を通して感じた「現実の問題点」や、激変する「メディアの現場」を多角的な視点でレポート。充実の内容を、BCCKSの電子書籍で、ゆっくりじっくり、お読みいただけます。

●都築響一強力編集！「妄想芸術劇場」第一弾！

『妄想芸術劇場 001 ぴんから体操』 都築恭一著 BccksPublish 1575円

<http://bccks.jp/bcck/101127/info>

▼作品解説

写真が瞬間芸だとすれば、イラストは独演会だ。観客ゼロの高座で2時間、汗みどろで語りつづける脳内の発情ランドスケープだ。写真ページの添え物とさげすまれ、アートともイラストレーションとも漫画とも認知されないまま、ひっそり増殖する隠花植物。

欲情の、淫夢の、妄想のもっとも純粋なあらわれとしての、マイクロ・ニルヴァーナ。

●平野友康氏のあたらしい試み「書籍++」

『ソーシャルメディアの夜明け』 平野友康著（株式会社メディアライフ）クーポン本

<http://bccks.jp/bcck/101817/info>

▼作品解説

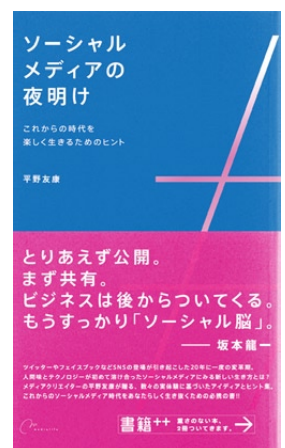
平野友康氏の新刊『ソーシャルメディアの夜明け』でBCCKSを使ったあたらしい試みを行っています。書籍を購入するとシェアカードがついてきて、コードを入力すると電子書籍でも読む事ができます。

※『ソーシャルメディアの夜明け』 平野友康著（株式会社メディアライフ）について

ソーシャルメディアがあなたの人生を変えるかもしれない…

ソーシャルメディア時代を生き抜くための必携の書。

<http://amzn.to/sxC4Vx>



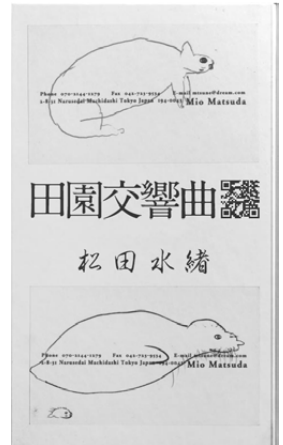
〈天然文庫ラインナップ〉

●新刊『田園交響曲』 松田水緒著 天然文庫 315円

<http://bccks.jp/bcck/39947/info>

▼作品解説

あたらしいジャンルがうまれました。出来あいの書籍に直接いたずらがきよしくペイントされた「絵本」ではなく「絵書籍」。カートに入れる前に代金を払わされてるような、死体からはえた芽がいきいき生き茂ってるような、途中なのか始まりなのか死体なのかゾンビなのか絵なのか本なのかなオムニバス物語。



●新刊『わたしの天才生活』 浅草天才算数塾著 天然文庫 315円

<http://bccks.jp/bcck/100358/info>

▼作品解説

リアル金太郎 DJ ぶりぶり + 脈診占い師パウロ野中による謎のスポット「浅草橋天才算数塾」。彼らの童貞作となる本書は、うんこ活け花・まん〇サブリミナル催眠・蒸溜濃縮コーヒー・美女12歳・森本千絵 etc…と、日常の非凡のカケラを天才生活へ誘うプチヒント集。



●『スカトロロジー・フルーツ』 五所純子著 天然文庫 630円

<http://bccks.jp/bcck/100144/info>

▼作品解説

濃密な空気、ただよう芳香、さまよう筆致、読むたびに繰り返し立ち現れる回想のバグ!? 00年代の俊英が2010年代におくる思考のオブジェクトとは?

カルチャー、思想誌を中心に発表した文芸／映画批評を編んだ初の論考集。



●『愛し、日々』 寺尾紗穂著 天然文庫 840円

<http://bccks.jp/bcck/39713/info>

▼作品解説

透明感あふれる清冽な歌声と類稀な詩世界の鋭さ、美しさで今最も注目されるシンガー・ソングライター、寺尾紗穂の処女エッセイ集。18歳から28歳の現在に至る10年間の時の移ろいを残酷なまでに浮き彫りにする、ワルツのように愛(かな)しい青春の記念碑。



- 『みさちゃんのこと JOJO 広重ブログ 2008-2010』 JOJO 広重著 天然文庫 630 円
<http://bccks.jp/bcck/39719/info>

▼作品解説

結成から 30 年にわたり世界のノイズ・シーンを牽引する「非常階段」の JOJO 広重が音楽、映画、本、日々の雑感に、恋と友情を綴ったブログの初の集成は、読者への箴言集であると同時に著者の知られざる側面を垣間見せる短篇集の趣も。未発表原稿多数収録。

- 『コンテンポラリー落語』 長谷川踏太著 天然文庫 210 円
<http://bccks.jp/bcck/100147/info>

▼作品解説

毎度ばかばかしい文庫本を一冊。英国の「デザインなんとか TOMATO」って？粋な集団でちゃきちゃき仕事をこなしてる江戸っ子電子図案家は長谷川踏太の旦那がエイヤッと書き下ろした現代落語で「レディーメイド」「MJこわい」の二本立ってんだから豪華じゃあないですか。デュシャン、8 つつあん、MJ、饅頭と、どうにもちくはくところがコンテンポラリーって？シロモノなんだそうで、はい。

- 『MWUAI 未完成版』 KYOTARO 著 天然文庫 420 円
<http://bccks.jp/bcck/39729/info>

▼作品解説

国内外で活躍する現代美術作家 KYOTARO のもう一つのフィールド／ルーツの「漫画」でありながらも「作品集」であり「エスキース集」でもある、一冊で三粒おいしい初の漫画単行本。未完成と記されているとおり、描き込み具合やタッチが様々な全 5 話。自由で伸びやかなその線に内包された KYOTARO を堪能しつくせる一冊です。

- 『1895-1992 津村耕佑スケッチ』 津村耕佑著 天然文庫 630 円
<http://bccks.jp/bcck/39731/info>

▼作品解説

都市型サバイバルウエアーでおなじみ FINAL HOME デザイナー、津村耕佑のスケッチ 320 頁。積み重なったのはデザインでも思考でも内的身体性でも外的記憶性でも無く、ただそこに重ねられた手の内のツメ跡が、自制や干渉や恣意にまみれた私たちにこれでもかと襲いかかる。

■株式会社 BCCKS (<http://bccks.jp/>)

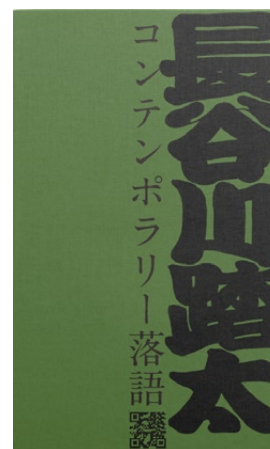
本社所在地：東京都品川区／代表取締役：山本祐子 / 竹中直純

web の「本」を作ることができる新コンセプトの UGM (User Generated Media) サービスサイトを展開。

■本件に関するお問い合わせ先

下記のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

<http://alpha.bccks.jp/contact/>



補足資料：各著者のプロフィール

●津田大介（つだ・だいすけ）

ジャーナリスト／メディア・アクティビスト。1973年生まれ。東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース非常勤講師。一般社団法人インターネットユーザー協会代表理事。J-WAVE『JAM THE WORLD』火曜日ナビゲーター。IT・ネットサービスやネットカルチャー、ネットジャーナリズム、著作権問題、コンテンツビジネス論などを専門分野に執筆活動を行う。ネットニュースメディア「ナタリー」の設立・運営にも携わる。主な著書に『Twitter 社会論』（洋泉社）、『未来型サバイバル音楽論』（中央公論新社）など。

●都築響一（つづき・きょういち）

1956年、東京生まれ。76年から86年までポパイ、ブルータス誌で現代美術、建築、デザイン、都市生活などの記事をおもに担当する。89年から92年にかけて、1980年代の世界の現代美術の動向を包括的に網羅した全102巻の現代美術全集『アート・ランダム』を刊行。以来現代美術、建築、写真、デザインなどの分野での執筆活動、書籍編集を続けている。1993年、東京人のリアルな暮らしを捉えた『TOKYO STYLE』刊行。1996年発売の『ROADSIDE JAPAN』で第23回・木村伊兵衛賞受賞。現在も日本および世界のロードサイドを巡る取材を続行中である。

●平野友康（ひらの・ともやす）

株式会社デジタルステージ代表取締役／メディアクリエイター

1974年群馬県桐生市生まれ。95年、鴻上尚史主宰「劇団第三舞台」をプロデュースする、株式会社サードステージのデジタル事業部を立ち上げる。97年4月から、ニッポン放送「平野友康のオールナイトニッポン」でラジオパーソナリティを2年間務める。当時としては珍しいデジタル枠として、実験的な番組の企画構成にも携わるほか、ニッポン放送のデジタルプロデューサーも務める。98年11月、株式会社サードステージから分社・独立し、株式会社デジタルステージを設立。同社代表取締役となる。98年12月、クラブシーンにおけるVJ経験より、自身初めてのソフトウェア「motion dive」を開発、プログラミングも行う。国内初の本格的VJ用ソフトウェアとして注目を集め、その後のVJカルチャーシーンを築き、世界中で使用されるVJソフトとしてのデファクトスタンダードになる。99年9月に発表した「motion dive 2」において、グッドデザイン賞中小企業庁長官特別賞。文化庁メディア芸術祭 デジタルアートインタラクティブ部門 優秀賞。AMD Award 部門賞 Best Programmer 賞受賞。マルチメディアグランプリ1999 新しい才能の部 優秀賞 銀の翼賞。同、パッケージ部門アートツール賞など数々を受賞。以降、身近なところにある自分たちの「未来」をデザインするソフトウェアを多数発表。PCソフトウェアでありながら、ナイキ・ジャパンやアップルジャパンなど異業種とのコラボレーション製品もリリースし、話題となる。2002年、写真を映画のような映像にする「LiFE* with PhotoCinema」を発表、ソフトウェア史上初のグッドデザイン賞大賞にノミネートされ、金賞を受賞する。その後も、Flashサイトが誰でもつくれる「ID for WebLiFE*」や、総合的なホームページ制作ソリューション「BiND for WebLiFE*」などのソフトを発表。2007年には初の自著『旅する会社』を出版。2010年からは、ソーシャ

ルメディアを駆使したメディアデザインに関わる活動へ幅を広げる。2011年1月、坂本龍一氏のピアノソロツアーを全世界へ配信した skmts プロジェクトでは、全世界で20万人が試聴し、音楽ライブ中継のスタイルを築いた。そのほか自社のブランドチャンネルも立ち上げ、ソーシャルメディア時代の新しいメディアづくりを手がけている。

●松田水緒（まつだ・みお）

東京都出身。雑誌「イラストノート」で「第5回ノート展大賞」受賞。雑誌『STUDIO VOICE』コラムのイラスト、飯沢耕太郎『きのこ文学名作選』（港の人）挿絵など。2011年、NO.12 GALLERYにて「島ノ名刺展」開催。圧倒的な素直さを武器に、無作為でのびのびとした生き物たちを制作中。

●浅草天才算数塾／パウロ野中（パウロ・のなか）

占い師、文筆家。著書に「三春人形の美と歴史」「絶対彼女ができる教科書」「簡単 LOVE タロット」等。DJぶりぶり＝金太郎（DJ ぶりぶり＝きんたろう）。カラーコーディネーター、モデル。遊びと暮らしの研究の傍ら、プロデュース&興行師。2011年6月より3週間美術手帖主催 BTGALLERY 初個展「スーパーくいしんぼう」展にて、TWITTER 上で話題になった「リアル金太郎」超本人。現在パウロ野中氏とともに、浅草橋天才算数塾運営。

●五所純子（ごしょ・じゅんこ）

1979年生まれ。文筆業。

●寺尾紗穂（てらお・さほ）

シンガーソングライター、エッセイスト。1981年東京生まれ。2006年アルバム「愛し、日々」でソロデビュー。07年「御身 onmi」でミディよりメジャーデビュー。大林彦監督作品「転校生 さようならあなた」の主題歌を担当。08年「風はびゅうびゅう」、09年「愛の秘密」を発表。著書に「評伝 川島芳子-男装のエトランゼ」（文春新書/08年）がある。大学在学中に結成したバンド Thousands Birdies' Legs のヴォーカルとしても活動。オフィシャルサイト> <http://www.tblegs.com/terao/win/home.html>

●JOJO 広重（JOJO・ひろしげ）

本吊、廣重嘉之。1959年京都生まれ。1979年に世界最初のノイズバンド・非常階段を結成。1984年には現存する日本最古のインディーズレーベル／アルケミーレコードを設立。現在も非常階段を始め、ソロ、セッションなど音楽活動は現役継続中。ノイズ、フリージャズ、アヴァンギャルドな音楽から、ロック、フォーク、歌ものまで幅広くこなす。また豊富な知識を生かしてCDのライナーノーツや音楽誌などへの執筆活動でも知られる。音楽活動の傍ら、日本でも珍しい断易占いの鑑定士としても活躍中。

●長谷川踏太 (はせがわ・とうた)

英国ロイヤルカレッジオブアート (Royal College of Art)、インタラクティブデザイン科卒。その後、ソニー株式会社勤務などを経て、英国ロンドンに本拠を置くクリエイティブ集団 tomato に所属。インターネット広告やコーポレートアイデンティティなどの分野でインタラクティブな作品を発表。その他、アーティストとしての作品制作や文筆活動も行う。

URL:www.tomato.co.uk

BLOG:www.phofa.net/blog/hasegawa/

E-Mail:tota@tomato.co.uk

● KYOTARO(青木京太郎)

1978年京都生まれ。学生の頃に描いた漫画が COMIC CUE に掲載されデビュー。「妖精たちの行く道・I SAW A LOT OF FAIRIES」「天界トリップ」「天欲」「The Armory Show」「pulse Show」「Docomodake ArtExhibition」など、国内外でのアーティスト活動と平行して『CaziCazi』『COMIC H』等に漫画を執筆する。作品集に STUDIOVOICE での連載をまとめた『The BabyShower Story』がある。

<http://www.kyotaro.biz/>

●津村耕佑 (つむら・こうすけ)

三宅一生氏の下クリエイションスタッフとしてパリコレや様々な展覧会に関わる。

究極の家は服であるという考えを具現化した都市型サバイバルウエア FINAL HOME を考案する。パリコレクション ロンドンコレクション 東京コレクションなどのファッションシーンを通して気がつくデザインやアート、建築の分野を越境し慌てて引き返す毎日。